

新学習指導要領における 外国語科、外国語活動について

奈良県教育委員会事務局学校教育課

指導主事 藤井 仁

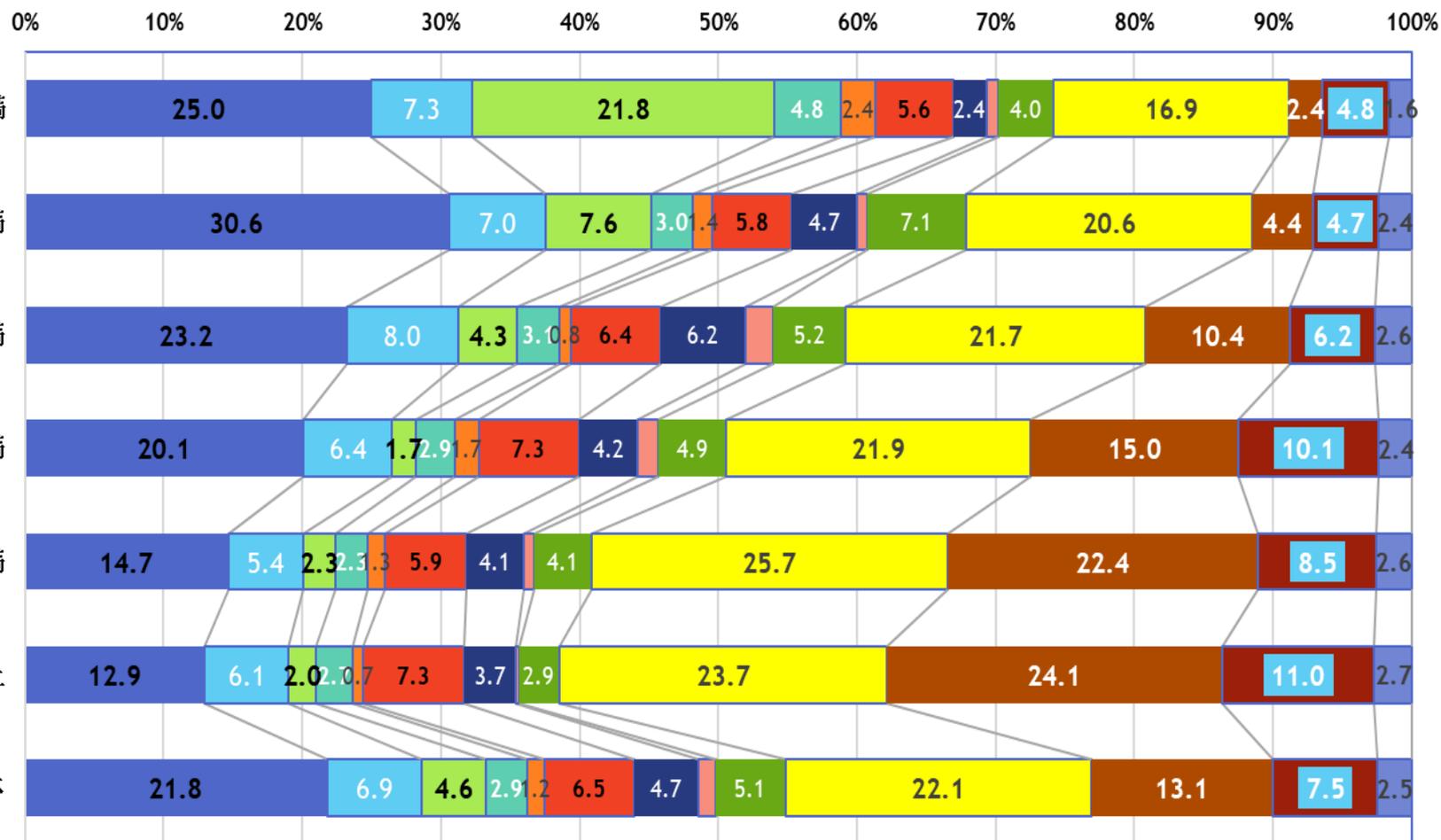
e-mail : fujii-hitoshi@office.pref.nara.lg.jp

本日の内容

1. 新学習指導要領における外国語、外国語活動の授業作りの視点
2. 移行措置について
3. 新教材について
4. 次年度以降に向けての学校での取組

学校教員にとって、指導することが難しいと感じる教科(経験年数別)

H29奈良県学力・学習状況調査 調査結果より

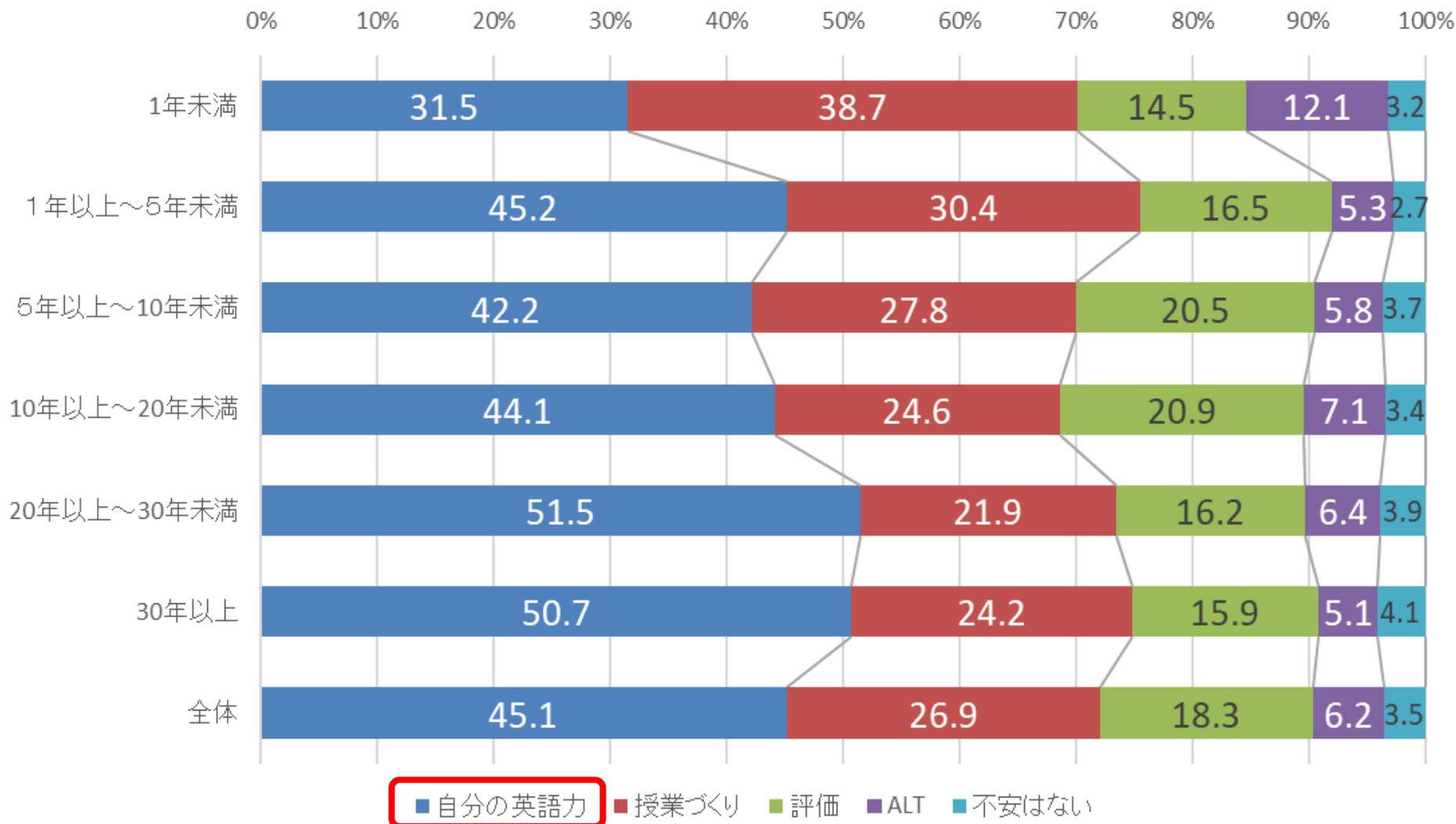


■国語科
■社会科
■算数科
■理科
■生活科
■音楽科
■図画工作科
■家庭科
■体育科
■道徳
■外国語活動
■総合的な学習の時間
■特別活動

国語科と道徳、外国語活動の指導が難しいと感じていることが分かる。
 経験年数別では、国語科と外国語活動の割合に大きな変化が見られる。

外国語科、外国語活動の授業にどのような不安があるか。

H29奈良県学力・学習状況調査 調査結果より



外国語活動の指導について、自分の英語力に不安をもつ教員の割合が高い。教員自身の英語力も大切だが、児童に英語を使わせることをより意識した授業づくりを目指すことが大切。

○新学習指導要領(小学校)全面実施 (平成32年度～)

- 高学年(5・6年) 外国語科 年間70単位時間
検定教科用図書を使用
平成30年度 教科用図書 検定
平成31年度 教科用図書 採択予定
平成32年度～ 検定教科用図書 使用予定
- 中学年(3・4年) 外国語活動 年間35単位時間
文部科学省作成の新教材を使用予定

○新学習指導要領 外国語科の授業づくりの視点

- ・音声中心の授業を行う。
- ・外国語を使ってコミュニケーションを図る言語活動を豊富に設定する。
- ・言語活動における目的・場面・状況を明確化する。
- ・ペアワーク、グループワークを取り入れる。
- ・言語やその背景にある文化への理解を深めたり、日本語と外国語との音声の違いに気付かせる活動を行う。

→授業の在り方は、現在の外国語活動と大きく変わらない。

→過去形、三人称等が指導内容として追加されるが、文法事項等の習得が主たる目的ではなく、より幅広い英語の表現を使ってコミュニケーションを行えるようにすることがねらいである。

○外国語科(5・6年)における文字指導について

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

イ 読むこと

(ア) 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。

(イ) 活字体で書かれた文字を見て、その読み方を適切に発音する活動。

(ウ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。

(エ) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する活動。

○外国語科(5・6年)における文字指導について

オ 書くこと

(ア) 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動。

(イ) 相手に伝えるなどの目的を持って、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。

(ウ) 相手に伝えるなどの目的を持って、語と語の区切りに注意して、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を書き写す活動。

(エ) 相手に伝えるなどの目的を持って、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動。

新学習指導要領 移行措置

移行措置期間

平成30年度、平成31年度

目的

「外国語活動の授業時数は、平成32年度から本格実施される新小学校学習指導要領に円滑に移行するために最低限必要となる内容について指導するためのもの」

小学校及び中学校の学習指導要領等に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導等について（通知） 文部科学省 平成29年7月7日

参照資料

「外国語教育における新学習指導要領の円滑な実施に向けた移行措置」

「小学校 学習指導要領移行期間に指導する内容等」

移行期間における授業時数

①移行措置

高学年（5・6年） 外国語活動 年間50単位時間

中学年（3・4年） 外国語活動 年間15単位時間

②先行実施

移行措置に加えて実施。高学年、中学年ともに、外国語活動として行うこと。

総合的な学習の時間から15を超えない範囲内の授業時数を減じることができる。

－ 小学校及び中学校の学習指導要領等に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導等について（通知）

新教材について

○文部科学省が作成、移行期間に使用

6年用 “We Can! 2” と “Hi, friends! 2” の内容の合冊版

5年用 “We Can! 1” と “Hi, friends! 1” の内容の合冊版

4年用 3年用（文部科学省作成中）

高学年用児童用冊子、教師用指導書等を文部科学省ウェブサイトで公開

各学校でダウンロードし研修等で活用を！

「小学校外国語・外国語活動平成30年度使用新教材ダウンロード専用サイト」 <http://mext-next-kyozai.net/>

利用可能期間 平成30年3月31日（土）

URL、ユーザーID、パスワード、注意事項等別紙参照

児童用冊子

- ▶ 3年生用（12月掲載予定）
- ▶ 4年生用（12月掲載予定）
- ▶ [5年生用〈9月版〉](#)
- ▶ [6年生用〈9月版〉](#)

教師用指導書

- ▶ 3年生用（12月掲載予定）
- ▶ 4年生用（12月掲載予定）
- ▶ [5年生用〈9月版〉](#)
- ▶ [6年生用〈9月版〉](#)

デジタル教材

- ▶ 3年生用（1月掲載予定）
- ▶ 4年生用（1月掲載予定）
- ▶ 5年生用（12月掲載予定）
- ▶ 6年生用（12月掲載予定）

ワークシート

- ▶ 3年生用（12月掲載予定）
- ▶ 4年生用（12月掲載予定）
- ▶ 5年生用（12月掲載予定）
- ▶ 6年生用（12月掲載予定）

参考資料

- ▶ [「年間指導計画例」](#)
- ▶ [「学習指導案例」](#)
- ▶ [「新学習指導要領（平成29年3月公示）」](#)
- ▶ [「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」](#)
- ▶ [文部科学省mextチャンネル（YouTube）](#)
- ▶ [文部科学省mextチャンネル（YouTube）に掲載の研修用動画一括ダウンロード（zipファイル）](#)

各学校の年間指導計画の作成及び新教材の使用計画

(参照資料)

「小学校の新たな外国語教育における新教材年間指導計画例案」

「年間指導計画例」

新教材の使用計画案「H30 6年生【A】」～「H30 4年生【D】」

「外国語科において短時間学習を実施する際の留意点」

各学校で、移行期間の年間指導計画を作成するとともに、新教材の使用方法についての計画を行う。

各学校で進める指導力向上のための研修資料

(文部科学省資料)

「小学校外国語活動・外国語 研修ハンドブック」

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm

「学習指導要領」等

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm

移行措置関連資料

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387780.htm